入試に関するよくある質問（新入学試験・転編入学試験）

Ｑ１：「新入学試験」と「転編入学試験」との違いは何ですか？

Ａ１：新入学試験……高等学校等における教科・科目の修得単位を有しない者を対象とする。
転編入学試験……高等学校等における教科・科目の修得単位を有する者を対象とする。
（転入学の場合は、単位修得が見込まれる者を含む）

Ｑ２：「転入学」と「編入学」の違いは何ですか？

Ａ２：「転入学」とは、現在高校に在学していて、「修得単位がある。または見込める場合」を受検資格とする入学試験。
「編入学」とは、高校を退学し、かつ過去において高校で「修得単位がある場合」を受検資格とする入学試験。

Ｑ３：それぞれの入試で、どのような手順となりますか？また、日程を教えて下さい

Ａ３：手順についてのフローチャートを示しておきます。

●新入学試験　本人 → 出身中学校（書類作成）　→　大津清陵高校（昼間部）へ出願
（中学校を経由して出願）

●転入学試験　本人 → 在籍高校　（書類作成）　→　大津清陵高校（昼間部）へ出願
（高校を経由して出願）

●編入学試験　本人　（書類作成、ただし単位修得証明書は在籍した高校で作成）
→　大津清陵高校（昼間部）へ出願（直接、本人が出願）
入試日程については「滋賀県立高等学校入学者選抜要項」で確認して下さい。

Ｑ４：新入学試験を受検するには、どのような「書類」が必要ですか？

Ａ４：新入学試験：①入学願書 ②受検票 ③その他
転入学試験：①転入学願書 ②受検票 ③単位修得・成績証明書④転学照会書 ⑤その他
編入学試験：①編入学願書 ②受検票 ③単位修得・成績証明書④住民記載事項証明書の写し⑤その他
※「滋賀県立高等学校入学者選抜要項」で確認して下さい。

Ｑ５：高校１年生に在学中ですが、大津清陵高校昼間部に入学するにはどのような試験を受ければよいですか？

Ａ５：大津清陵高等学校 昼間部には、「新入学試験（定員：４０名）」と「転編入学試験（定員：４０名）」があります。
高校１年生にということですが、教科・科目の単位の修得が見込めるか見込めないかで試験が異なります。
見込める場合は、「転編入学試験」を受験することになりますし
見込めない場合は「新入学試験」を受験することになります。
※ 単位の修得が見込めるか、見込めないかは、在学中の学校で相談して下さい。

Ｑ６：「転編入学試験」の受検資格はどのようなものがありますか？

Ａ６：滋賀県立大津清陵高校昼間部は県立高校ですので、次のようなものがあります。

＜「滋賀県立高等学校入学者選抜要項」より抜粋＞

次の①に該当し、かつ、②または③のいずれかに該当する者とする。

①志願者が滋賀県内に住所または勤務先を有する者もしくは
入学日までに県内に住所または勤務先を有する見込みの者であること。

②転入学志願者　高等学校または中等教育学校の後期課程（以下「高等学校等」という）に在学し
教科・科目の修得単位を有する者または有する見込みの者。

③編入学志願者　過去に高等学校等に在学して、教科・科目の修得単位を有する者。

Ｑ７：「特別出願」の手続きはどのようにすればよいですか？

Ａ７：滋賀県教育委員会学校教育課で確認して下さい。（ホームページにも掲載されています）

Ｑ８：転編入学の「出願書類」はどこで手に入れられますか？

Ａ８：転入学試験……①現在、滋賀県内の県立高校に在籍している場合
県教育委員会から県立高校にすでに配布されていますので、それをご利用ください。
②現在、県内・県外の私立高校に在籍している場合、滋賀県教育委員会学校教育課
または大津清陵高校昼間部から手に入れることができます。
編入学試験……滋賀県教育委員会学校教育課、または大津清陵高校昼間部から手に入れることができます。

Ｑ９：「新入学試験」と「転編入学試験」の試験科目は何ですか？

Ａ９：新入学試験……学力検査（国語、数学、社会、理科、英語）＋「面接」
転編入学試験……学力検査（国語、数学、英語）＋「面接」

Ｑ１０：「転編入学試験」の受検資格に「教科・科目の修得単位を有する者」とありますが
「総合的な学習の時間」の単位は含みますか？

Ａ１０：含みません。

大津清陵高等学校（昼間部）に関するよくある質問

Ｑ１１：現在、普通科でない職業学科に在籍していますが、大津清陵高校昼間部に転入学した場合
修得した単位は、どこまで認められますか？

Ａ１１：前籍校での修得単位を卒業単位として認定していますが、個々のケースについての判断となります。

Ｑ１２：「高等専門学校」に在籍していますが、全く「課程」が異なっていて
修得した単位が「普通科」の単位に重ならない場合、その単位はどのように扱われますか？

Ａ１２：できるだけ、本人に不利にならないように「読替」などで単位を認めることがあります。

Ｑ１３：学費はどれくらいかかりますか？

Ａ１３：（Ａ）授業料・受講料

定時制科目（授業料）……１単位あたり、１，７５０円

通信制科目（受講料）……１単位あたり、　　３３０円

※１　一人一人が受講する数により金額は異なりますが。

標準（定時科目１９単位＋通信科目６単位＝計２５単位）の場合

１，７５０円×１９単位＝３３，２５０円

３３０円×　６単位＝　１，９８０円　　合計　３５，２３０円となります。

※２　授業料および受講料については、平成 22 年度から無償となっています。

（Ｂ）諸経費　　約３万円（その他、新入生は、修学旅行積立金（約４万円）が必要）

（Ｃ）教科書代・副教材費　　約１万円

（Ｄ）その他　体操服・体育館シューズなど　　約１６，０００円

※費用等は、年度当初に一括納入となります。

Ｑ１４：午前中の授業ということですが、どのような日課になっていますか？

Ａ１４：日課表は次の通りです。

		時　間
定時制	１	９：００～　９：４５
	２	９：５５～１０：４０
	３	１０：５０～１１：３５
	４	１１：４５～１２：３０
ＳＨＲ・掃除		１２：３０～１２：４０
通信制	５	１３：２５～１４：１５
	６	１４：２５～１５：１５

Ｑ１５：卒業するための条件（「卒業要件」）を教えてください？

Ａ１５：「卒業要件」は基本的に次の三つとなります。

①必履修科目等(新教育課程の対象生徒は総合学習を含む)をすべて履修し
　修得単位が７４単位以上あること。

②特別活動（ＬＨＲ・学校行事・生徒会活動等）の成果が満足できること。

③修業年限３年以上を満足すること。（転・編入生は本校で１年以上、前籍校と通算して３年以上)

Ｑ１６：「単位制」が「学年制」と違う点は何ですか？

Ａ１６：単位制とは「無学年制」のことであり、原級留置がなく
一度修得した単位が無効になることのないシステムをいいます。

Ｑ１７：「高等学校卒業程度認定試験」（旧大検）で合格した単位は認められますか？

Ａ１７：条件付きで、認めています。

Ｑ１８：「前期卒業」とは何ですか？

Ａ１８：「単位制」ですので、前期末（９月末）で単位を認定することができます。
その時点で、「卒業要件」を満たすことができれば、卒業を認定しています。

Ｑ１９：大津清陵高校には「昼間部」「通信部」「夜間部」があると聞いたのですが
どのような違いがあるのですか？

Ａ１９：三部の違いは、おおよそ次の通りです。

学　科　等		学　習　方　法
定時制課程	普通科【昼間部】	午前中に１日４時間の授業を受け、 ３年間以上学習をして高校を卒業します。
	普通科【夜間部】	夜間に１日４時間の授業を受け、 ３年間以上学習をして高校を卒業します。
通信制課程	普通科【通信部】	テキストにしたがって自学自習し、 レポート（課題）を提出します。 日曜日または水･木に登校して、授業（スクーリング）に出席し、 テストを受けます。３年間以上学習をして高校を卒業します。

Ｑ２０：定時制高校は、本来４年で卒業すると聞きましたが
大津清陵高校昼間部では３年でも卒業できるのですか？

Ａ２０：定時制課程の高校での修業年限は、３年以上となっています。
午後からの授業を取ることによって、中学校新卒生でも３年での卒業が可能です。

Ｑ２１：大津清陵高校昼間部では、学区の区分はどうなっていますか？

Ａ２１：二学期制です。（　前期：　４月１日～９月３０日　後期：１０月１日～３月３１日（翌年））

Ｑ２２：大津清陵高校昼間部へのアクセスを教えて下さい。

Ａ２２：ＪＲ・京阪電車 石山駅より京阪バスで１８分
（石山団地行き（２系統あり）、石山団地（終点）下車すぐ）